

会 議 記 録 (概 要)

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|-----------|---|
| 会議名 | 高松市総合都市交通計画推進協議会 平成 27 年度第 2 回市民啓発部会 |
| 開催日時 | 平成 27 年 11 月 18 日 (水) 10 時 30 分～11 時 30 分 |
| 開催場所 | 高松市役所 11 階 113 会議室 |
| 議題 | 議事 (1) バス案内表示板の設置について (2) その他 |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | — |
| 出席委員 | 宮本部会長、藤本副部長、川上委員、多田委員 (代理：高橋)、 今田委員 (代理：西本)、戸城委員、野口オブザーバー (欠席委員 3 名：松木委員、滝川委員、奥廣委員) |
| 傍聴者 | 0 人 (傍聴席：5 席を確保)、報道 2 人 |
| 担当課および連絡先 | 交通政策課 087-839-2138 |

審議経過及び審議結果

次のとおり、部会を開催した。

(事務局)

本日は、委員 9 名のうち過半数以上の方が出席しているため、当協議会設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する。

1 議事の協議について

次の議事について協議し、下記の結果となった。

(1) バス案内表示板の設置について

バス案内表示板の設置について・・・事務局から説明
以後審議

(会 長)

意見、質問などがあれば、お願いしたい。

(委 員)

バスの本数が多い認識はなかったが、家族と利用した際に改めて時刻を調べてみると、思っ

たより便数があることを認識した。また、自動車に頼ることができず、バスが必要な方にとっては、今回の取組は利便性向上の面から期待できる。

(委員)

J Rから降車した方が主なターゲットとなると思う。ことでの時刻表については、瓦町駅における志度線の乗換表示については、琴平線、長尾線の到着時刻も表示したほうがよいのではないかと。また、ことでの車両は各路線色が決まっていることから、時刻表の配色もそれに合わせてはどうか。

(事務局)

乗換時刻表示については、分かりやすさを考慮した上で、掲載を検討したい。また、ことでの配色については、バス路線表示に多数の色を使用することから、分かりやすさを念頭に、適宜、最終確定に向けて調整してまいりたい。

(委員)

遅れ情報等は表示されるのか。

(事務局)

広域案内表示板の液晶部最下部に、事故や天候不良による遅れをリアルタイムで表示する予定である。

(委員)

路線図には、利用客がどこで降りたらいいのかが分かるよう、路線途中のバス停留所は掲載するのか。

(事務局)

主要な目的施設を標記した上で、可能であれば掲載してまいりたい。

(委員)

今回は高松駅の駅舎内と駅前バスターミナルの2箇所に設置することで確定か。将来的には、瓦町駅のようなターミナルにも設置も検討する余地があると感じる。そうすることで、自動車利用からのモーダルシフトが進むことによる交通安全面の向上及び中心市街地の活性化が期待される。

(事務局)

現段階では、施設管理者と協議中であるが、J R高松駅において設置するとすれば、J Rを利用された利用者に目に止まりやすい駅舎内の設置と、J R利用者以外の方にも目に止まるよう、バスターミナルにおける設置が最も効果的と考えている。

また、今後の展開については、昨年度策定した地域公共交通網形成計画において、公共交通

ネットワークの再構築の観点から重点取組事業と位置付けており、瓦町駅や現在整備検討中の新駅等、主要な交通結節点はもとより、病院施設等の不特定多数の方々が利用される施設においても、展開できるよう関係者と検討してまいりたい。

(副部会長)

前回の素案から見てかなり情報量が増え、多くの情報があることで分かりやすくなった点と、情報量の多さによる分かりにくさがあり、バランスを失っていると感じる。観光の観点は重要であるが、琴平等の観光地への案内が不足している点、芸術祭を見据えた航路情報も必要となる点を鑑みると、もっと多くの情報が必要となる。本来の目的は、中心部の東になっているバス路線を分かりやすく表示することにより、バス利用を喚起する点であることから、情報量が多くなるのであれば、観光情報を時刻として表示するのは無理があり、中心部のバス情報と高松築港発のことでん2系統で十分ではないか。

(事務局)

今回の案内表示検討における課題は、中心市街地に充実しているバスの利用が進んでいない点であり、適切に情報を届けることができれば、バスが移動の選択肢になることを期待するものである。確かに、観光情報の掲載については、現状では不足であり、これ以上掲載することも情報量として多くなりすぎることから、観光情報については別途対応を検討したい。

(部会長)

ことでんの情報は重要であるが、情報量は確かに多すぎる印象である。もう少し簡素化していただきたい。

(2) その他

公共交通利用促進啓発用映像資料について・・・事務局から説明

2 事務局より報告および次回協議会等について説明

次回部会の開催については、必要に応じて適宜調整させていただく。

閉会

以上